



平成 25 年 10 月 11 日

各 位

会 社 名 J Xホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 松下 功夫
コード番号 5 0 2 0 東証・名証第 1 部
問合せ先 財務 I R 部 I Rグループマネージャー
山本 真義
(電話番号 03-6275-5009)

当社子会社による

チリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」の進捗状況等について

当社子会社の J X 日鉱日石金属株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：足立吉正）および三井金属鉱業株式会社（本社：東京都品川区大崎一丁目、社長：仙田貞雄）の共同出資による銅事業会社パンパシフィック・カッパー株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：足立吉正）が三井物産株式会社（本社：東京都千代田区大手町一丁目、社長：飯島彰己）と共同で推進しているチリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」は、現在、建設の最終段階にあり、引き続き早期の建設完了および銅精鉱生産開始に向けて注力しておりますが、その進捗状況等については添付のとおりの見通しとなりましたので、お知らせいたします。

なお、これによる当期連結業績への影響は軽微です。

以 上

「添付資料」

チリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」の進捗状況等について

2013年10月11日

各 位

ＪＸ日鉱日石金属株式会社
三井金属鉱業株式会社
パンパシフィック・カッパー株式会社
三井物産株式会社

チリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」の進捗状況等について

ＪＸ日鉱日石金属株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：足立吉正）および三井金属鉱業株式会社（本社：東京都品川区大崎一丁目、社長：仙田貞雄）の共同出資による銅事業会社パンパシフィック・カッパー株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：足立吉正）が三井物産株式会社（本社：東京都千代田区大手町一丁目、社長：飯島彰己）と共同で推進しているチリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」は、現在、建設の最終段階にあり、引き続き早期の建設完了および銅精鉱生産開始に向けて注力しておりますが、その進捗状況等については次のとおりの見通しとなりましたので、お知らせいたします。

1. 今後の見通し

- (1) 銅精鉱生産開始予定時期：2014年1月中
- (2) 初期投資額（銅精鉱生産開始までの投資額）：約42億米ドル（注）

（注）開発に係る今後の投資額については、必要に応じ、プロジェクト会社であるミネラ・ルミナ・カッパー・チリ社に対する株主からの出資または融資により拠出すべく、その負担割合および出資・融資の比率等については、株主間で協議中である。

2. 見通しの背景

予想を上回る岩盤状況の悪化による難工事の発生、チリにおける大型鉱山開発・拡張プロジェクトの同時進行に伴う建設作業員不足、労務費高騰、労働条件改善要求のストライキ発生、悪天候による建設工事の中断の影響並びにそれらによる工事遅延挽回策の実施等。

3. その他

- (1) 銅精鉱生産のための建設工事は、主要な土木工事および建屋の建設が終了し、今後、機器の据え付け工事が中心となる。
- (2) 溶媒抽出－電解採取法（SX-EW法）による電気銅生産は、既に本年3月14日から開始し、その後の操業はおおむね順調に推移している。

以 上

「添付資料」

チリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」について

【お問い合わせ先】

JX 日鉱日石金属株式会社 広報・CSR 部

TEL : 03-5299-7081

三井金属鉱業株式会社 総務部広報室

TEL : 03-5437-8028

パンパシフィック・カッパー株式会社 総務部

TEL : 03-5299-7403

三井物産株式会社 IR 部

TEL : 03-3285-7910

FAX : 03-3285-9821

三井物産株式会社 広報部

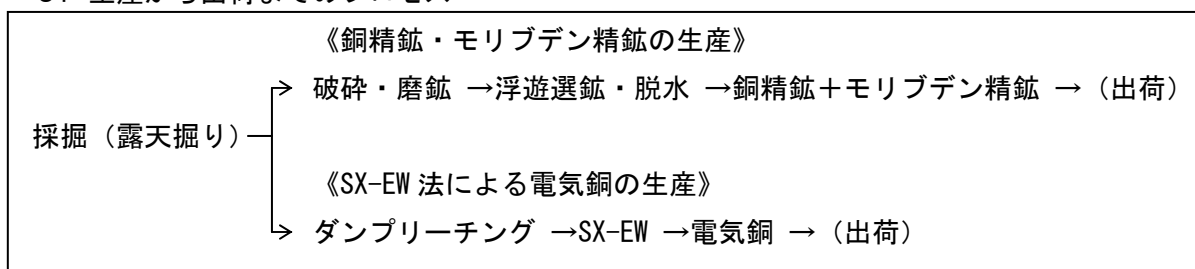
TEL : 03-3285-6645

FAX : 03-3285-9819

(添付資料)

チリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」について

1. 建設開始： 2010 年から
2. 操業開始： ・SX-EW 法による電気銅生産 2013 年 3 月
・銅精鉱・モリブデン精鉱生産 2014 年 1 月
3. 生産期間： 2013 年～2040 年 (28 年間)
4. 生産方法： 銅 「SX-EW 法による電気銅生産」と「精鉱生産」の併用
モリブデン 精鉱生産
5. 生産から出荷までのプロセス



(注)

- ・ダンプリーチング：鉱石を粉碎せず堆積させ、希硫酸を散布し、銅を浸出（リーチング）する方式。
- ・SX-EW 法：溶媒抽出電解採取法。銅の浸出液から銅イオンを選択的に回収（溶媒抽出）し、この硫酸銅液から電解採取により電気銅を生産する。現在、世界の鉱山銅生産量の約 20%を占める。

6. 採掘対象鉱量

鉱石	鉱量 (億トン)	銅品位 (%)	モリブデン品位 (ppm)
銅精鉱・モリブデン精鉱生産対象 (一次硫化銅鉱および二次硫化銅鉱)	10.5	0.34	126
SX-EW 法による電気銅生産対象 (酸化銅鉱および低品位二次硫化銅鉱)	3.0	0.25	—

(注)

- ・一次硫化銅鉱：鉱床形成の初めに濃集した銅鉱石。黄銅鉱など。
- ・二次硫化銅鉱：硫化物の酸化によって生じた硫酸が、酸素の乏しい状態で再び一次硫化銅と反応し、新たに濃集形成した銅鉱石。輝銅鉱など。

- ・酸化銅鉱：一次硫化銅が地表付近で雨水や風化により、銅分が溶解し、酸化されたもの。
胆ばん，孔雀石など。

7. 鉱石処理量： 約 10.3 万トン／日

8. 生産量（見込み）：

（当初 10 年間平均）

銅： 銅精鉱（銅量）	約 15 万トン／年
電気銅	約 3 万トン／年
計	約 18 万トン／年
モリブデン	約 3 千トン／年

（28 年平均）

銅： 銅精鉱（銅量）	約 11 万トン／年（3,141 千トン／28 年）
電気銅	約 1 万トン／年（ 406 千トン／28 年）
計	約 12 万トン／年（総生産銅量 3,547 千トン）
モリブデン：	約 3 千トン／年（総生産モリブデン量 約 8 万 7 千トン）

9. 開発投資額： 約 42 億米ドル（生産設備等初期投資額）

10. カセロネス銅・モリブデン鉱床の所在地

チリ第三州の州都コピアポ（Copiapo）から南東 162km，アルゼンチンとの国境から 15km に所在。鉱床付近の標高は 4,200m～4,600m。



(ご参考) カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクトの進捗状況について



設備全景 (SXEW 工場、採鉱機械修理場 (トラックショップ)、選鉱場 (磨鉱・浮選建屋))



電解設備



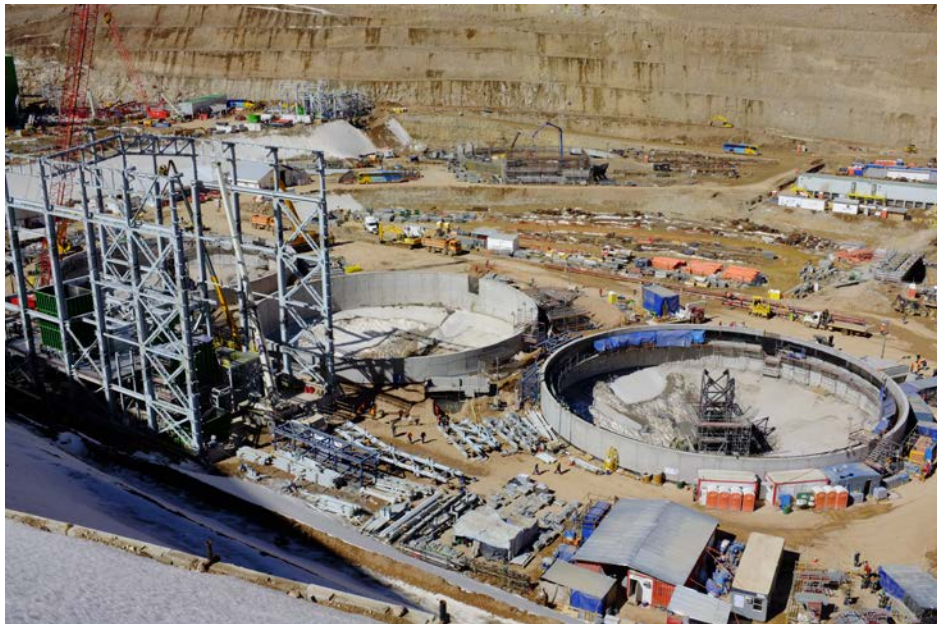
電気銅



磨鉱機械（ボールミル）



浮選建屋・浮選機



廃さいシクナー



破碎設備